

ビジネス科学研究科 企業科学専攻と 早期修了プログラムの紹介

2016. 11. 6

1

研究科の構成

- ビジネス科学研究科
Graduate School of Business Sciences
 - 経営システム科学専攻（博士前期課程）
Master's Program in Systems Management
 - 企業法学専攻（博士前期課程）
Master's Program in Advanced Studies of Business Law
 - 企業科学専攻（博士後期課程）
Doctoral Program in Systems Management and Business Law
 - システムズ・マネジメントコース
Systems Management Course
 - 企業法コース
Business Law Course
 - 国際経営プロフェッショナル専攻（専門職学位課程）
MBA Program in International Business
 - 法曹専攻（専門職学位課程）
Law School Program

2

入学定員と教員数

企業科学専攻

システムズ・マネジメント
コース

企業法
コース

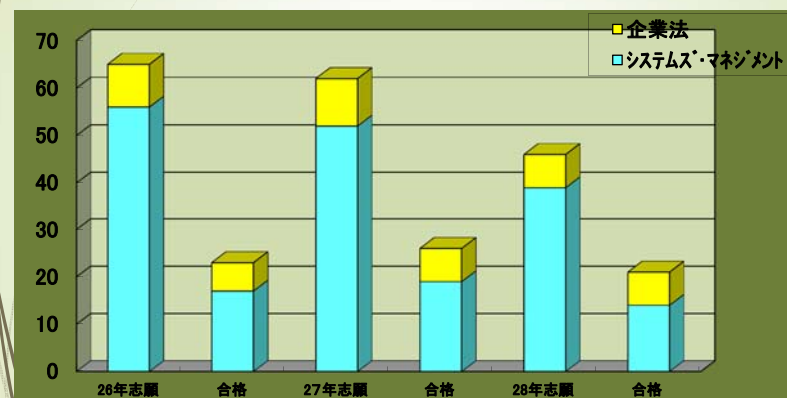
教員数
17名

入学定員：23名
H28年度合格実績
シス・マネ 14名
企業法 7名

教員数
15名

■ 全教員が社会人大学院の専任

応募・合格の状況



企業科学専攻の目的と特徴

企業、社会が変化している中に現れている新たな課題の発掘、設定、解決

- システムズ・マネジメント/企業法務の側面から接近
- 有職社会人に対する高度専門職業人の養成（社会人の再学習）
- 国立大学初の専ら夜間に教育を行う博士課程
 - 平成5年大学審議会答申「夜間に教育を行う博士課程について」
『博士課程においても、大学等の研究者のみならず、社会の多方面で、さらには国際社会で活躍し得る高度な専門能力を有する優れた人材を養成することがますます重要になる。…博士課程においても夜間に教育を行うことができる途を開くことが必要である。』

養成しようとする人材

高度専門職業人に必要とされる能力の強化と開発

(1) マネジメント能力

- 高度なマネジメント能力で、リーダーシップを発揮し、解決すべき諸問題を発掘し、明示できる能力

(2) インプリメンテーション能力

- 高度な技術や理論を適用し、明示化された問題を実務的に解決していく能力

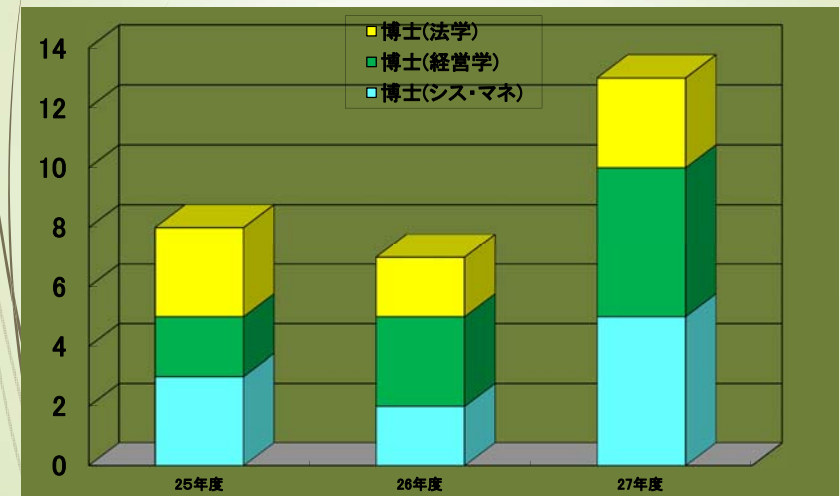
(3) リサーチ能力

- 新しい学問体系を開拓していける能力

授与する博士号

- システムズ・マネジメントコース
 - 博士（経営学）
Doctor of Philosophy in Business Administration
 - 博士（システムズ・マネジメント）
Doctor of Philosophy in Systems Management
- 企業法コース
 - 博士（法学）
Doctor of Philosophy in Law

学位授与・修了の状況



様々な履修形態

	標準修了	在来型早期修了	早期修了プログラム
修業年限	3年	1年以上3年未満	1年 1年で修了できないときは標準か在来型へ
履修認定	なし	なし	(システムズ・マネジメント) 学術論文2編以上 (企業法) 学術論文相当2編以上
達成度評価	なし	なし	7項目
修了認定	通常基準 在学中1編 +論文相当2編	特に優秀 ・在学中3編 ・在学中2編 +論文相当1編	特に優秀 在学中1編 +履修認定時の2編

8

コース別早期修了プログラム

	システムズ・マネジメント	企業法
早期修了プログラム認定に要する学術業績の基準(*1)	2編以上の査読付き学術論文.	2編以上の査読付き学術論文相当. ただし, うち1編は10万字程度の分量があること
在学中の研究業績	入学後投稿した学術論文が掲載または掲載が決定されること. ただし, 学術論文に代わり, 国際会議論文が掲載または掲載が決定されることで認める場合がある.	入学後投稿した学術論文(紀要でも可)が掲載または掲載が決定されること.
履修要件	20単位以上 (うち12単位は研究単位)	20単位以上 (うち9単位は研究単位)

*1: プログラム履修認定を約束するものではありません.

9

10

システムズ・マネジメントコースの入試について

11

入学試験関係の日程

- 出願書類の受付期間
 - 平成29年1月10日(火)～1月14日(土)
 - (※出願資格審査の必要な方: 平成28年11月29日(火)～12月3日(土))
- 口述試験
 - 2月5日(日) 10:00～17:00 (予定)
- 合格者の発表
 - 2月16日(木) 15:00

※出願書類を受理した場合, 平成29年1月27日(金)までに, 受験票及び受験者心得を発送します。

定員および選抜方法

- ▶ 定員： 若干名 ただし、同専攻企業法コースの募集人員を含む
- ▶ 選抜方法
 - ▶ 提出論文と研究計画書 (20点)
 - 問題意識, 研究のアプローチ, 専門知識のレベル, 研究の実現可能性や新規性, 文章表現能力等を評価
 - ▶ 外国語試験 (TOEIC® Listening & Reading Testのスコアで代替) (20点)
 - ▶ 口述試験 (60点)
 - 各自10分, 書画カメラ(実物投影機)を使い研究計画を発表
 - 研究計画書及び専門知識に関する質疑(日本語による諮問)
 - 研究計画書の内容の理解度, 専門的知識のレベル, 学習や研究への意欲, 自分の考えを表現する能力等を評価

外国語試験 = TOEIC® Listening & Reading Testのスコア

▶ 有効なスコア:

外国語試験の代替となるTOEICのスコアは, 所定の期限内(口述試験実施日の2年前以降)に公開テストを受験し「公式認定証」が発行されたものに限りません。
 団体特別受験制度(IPテスト)によるスコアは利用できません。

- ▶ その他, 注意事項は募集要項を確認してください。

研究計画書の書き方

1. 分量: A4用紙6ページ以内 (図、表、参考文献含む)
2. 構成
 - ▶ 問題意識・研究テーマ
 - 研究の背景や問題意識, 具体的な研究テーマ
 - ▶ 関連研究
 - (文献を参照しながら) 研究に関連する既存の研究成果の紹介
 - ビジネス上の知見
 - ▶ 研究方法・スケジュール
 - 予定している研究方法を具体的に,
 - ▶ 期待される成果
 - この研究で期待される結論や成果
 - ▶ 参考文献
 - 関連研究で取り上げた文献を中心に, 研究計画に関連する参考文献を10件以内列挙

研究計画書の評価ポイント

▶ 評価のポイント

- ▶ 問題意識の明確さ
- ▶ 研究アプローチ・方法の妥当性
- ▶ 研究の有用性・新規性
- ▶ 研究の実現可能性
- ▶ 専門知識のレベル
- ▶ 文章表現能力
- ▶ 見やすさ・分かりやすさ
など

16

入学試験関係の問合せ先

筑波大学 社会人大学院等支援室教務担当

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1

電話 03-3942-6918

詳細情報, 出願書類のダウンロードは下記へ

<http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp>

17

出願資格審査を必要とする方

- 文部科学省に認可された
 - 国内の大学院修士課程（博士前期課程を含む）を修了し、修士号を授与された者
 - 国内の専門職学位課程を修了し、〇〇修士（専門職）等の専門職学位を授与された者

上記以外の者は、本大学院において事前に出願資格審査を受ける必要があるかも知れません。

- 詳細は、募集要項でご確認いただき、不明な点は早めに、社会人大学院等支援室教務担当にご相談ください。

※ 海外の大学院の日本校については、文部科学省の認可の有無により出願資格審査の要否が異なりますので、注意してください。

- 出願資格審査の期間：
平成28年11月29日（火）～12月3日（土）

18

おわり

来年4月に笑顔でお目にかかりましょう